

平成30年度10月号



# 十二月田小だより

川口市立十二月田小学校  
川口市朝日1-11-1  
TEL (048)222-4383  
FAX (048)222-9388

学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子  
児童数 男子509名 女子481名 計990名

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子

子供たちに『自己効力感』を育む

校長 竹内 まゆみ

困った時に誰かに助けを求めるスキルを「援助希求スキル」といいます。このスキルは、大人でも使うことをためらうものです。なぜなら「援助希求スキル」は、辛い時にこそ発揮されるべきであり、自立のための「究極のスキル」とも言われています。具体的には、①自分が何で困っているかを相手に伝える②一人では解決できないので助けてほしいことを伝える③相手に何をしてほしいのかを具体的に伝える④助けてもらった後にお礼を言う、といった項目です。かなり高度なスキルです。

このスキルを使いこなすためには、『自己効力感』が鍵になるようです。『自己効力感』とは、「自分はきっとこの目標を達成することができる」と思えることです。わからないことや苦手なことを人から教わる、助けてもらうことの出来る人は『自己効力感』の高い人だと言われます。『自己効力感』が低ければ、「どうせ失敗する」「どうせ成果は出ない」と受け止めてしまいます。『自己効力感』の低い人は、援助を求めることでさらに傷つくことを恐れ、援助を求められないと考えられています。「教えて」と言うと、「こんなこともわからないの?」と周りに責められるのではないか、「手伝って」と言うと、「自分でできないの?」と馬鹿にされるのではないか、という不安から援助を求められなくなるということです。

授業を参観し、教室の中で子供たちが教え合ったりする場面に出会うと、とても嬉しくなります。子供たちが所属するクラスで、「わかる・わからない」「できる・できない」に正直になれるクラス、「わからない」と言う勇気が賞賛されるクラス、失敗することも保障されるクラスをつくることで、その子の「援助希求スキル」は育まれるはずで、子供たちの将来を支える上でも重要になるこの自立のための「究極スキル」を育んでいきたいと思えます。

子供たちは保護者の皆様に見守られている安心感の中で、生活意欲を高めていきます。私たち大人は、子供たちに子供たちの意欲を高める言葉がけをしていきたいと思えます。

一年間の折り返しの時期となりました。引き続き教育活動の充実に努めてまいります。

## 平成30年度 学校表彰を受けることができました

学校安全 川口市優良学校（小学校 8校）※学校安全は昨年度に引き続き優良学校表彰となります  
学校給食 川口市努力学校（小学校10校）

家庭・地域と連携した取組が評価されたものと考えております。  
今後もこれを糧にし、取り組んでまいります。ありがとうございました。